

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

青森県知事 殿

提出者

住 所 青森県十和田市大字三本木字野崎 1

氏 名 I Hミートパッカー株式会社

代表取締役 小泉 隆

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0176-23-7321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	十和田ビーフプラント（生産1課）
--------	------------------

事業場の所在地	十和田市大字三本木字野崎 1
---------	----------------

計画期間	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで
------	------------------------

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	と畜業
---------	-----

② 事業の規模	令和6年度処理実績 11, 215頭
---------	--------------------

③ 従業員数	27人
--------	-----

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥：自社で中間処理（脱水）→処理業者へ委託・その他：処理業者へ委託
------------------	--

（日本産業規格A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組)	
汚泥に対し、曝気のエアー調整及び脱水により減量化を実施。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組)	
汚泥に対し、曝気のエアー調整及び脱水により減量化を実施予定。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物を専用容器等に保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	92,193.97 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥に対し、曝気のエアー調整及び脱水により減量化を実施。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組) 汚泥に対し、曝気のエアー調整及び脱水により減量化を実施予定。	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組) —	
② 計画	【目標】—	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組) —	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、委託できる業者と書面により契約を実施。	

(第5面)

② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—
	(今後実施する予定の取組) 再生利用廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 委託処理業者には定期的に現地確認をする。	
※事務処理欄		

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 産業廃棄物処理計画と現状の一覧表

現状：令和６年度の処理状況

計画：令和７年度の処理計画

単位：t

項目	汚泥		廃アルカリ		動物系固形不要物		廃プラスチック類		計	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
① 排出量	92380.30	100000.00	257.78	300.00	216.78	220.00	17.50	20.00	92872.36	100540.00
②+⑧ 自ら再生利用する量										
⑤ 自ら熱回収する量										
⑦ 自ら中間処理により減量する量	92193.97	90000.00							92193.97	90000.00
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量										
⑩ 全処理委託量	186.33	200.00	257.78	300.00	216.78	220.00	17.50	20.00	678.39	740.00
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量										
⑫ 再生利用業者への処理委託量	186.33	200.00	257.78	300.00	216.78	220.00	17.50	20.00	678.39	740.00
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量										
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										

(別 紙)

管 理 体 制

○廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所 属：IH ミートパッカー（株）十和田ビーフプラント 職 名：工場長
廃棄物担当		所 属：IH ミートパッカー（株）十和田ビーフプラント 品質管理課 職 名：主事
役割	食品安全・ 環境委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の処理抑制、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の 管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長：工場長 委員：課長、衛生管理責任者、生産管理係等
	食品安全・ 環境委員会 委員長	○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 廃棄物管理記録簿の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理 担当	○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者の選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 職員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他に関する事項
※廃棄物管理組織は、別紙「IH ミートパッカー株式会社十和田ビーフプラント組織図 食品安全・環境委員会」のとおり		

IHミートパッカー株式会社組織図 2025年4月1日時点

